

令和3年6月3日

山形県内でパレコウイルス A3 型感染症と診断された患者様へ

当所では、下記の疫学研究を実施しております。この研究は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に定める感染症発生動向調査において収集した患者様の情報を用いて行います。

皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

患者様の情報の利用停止のほか、この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、「⑤ お問い合わせ先」へご連絡ください。

研究名： 2019 年の山形県におけるパレコウイルス A3 型の疫学研究

研究実施期間：令和3年6月3日～令和8年7月31日

山形県衛生研究所倫理審査委員会許可番号： YPIPHEC 21-2

① 対象となる患者様（研究の目的、情報の利用目的及び利用方法）

パレコウイルス A3 型感染症は、小児科領域において、鼻咽頭炎など日常よく見られる感染症から集中治療室管理を要する重症感染症まで、さまざまな病態をひきおこすことが知られています。山形県では、世界に先駆けてパレコウイルス A3 型が成人の流行性筋痛症の原因となることを論文発表しましたが、この病気はまだ日本以外からの報告がなく、さらに研究を進め、知見を蓄積し、日本から情報発信していく必要があると考えています。

パレコウイルス A3 型感染症は、2008 年、2011 年、2014 年、2016 年の夏から秋に流行し、2019 年にも国内で大きな流行がありました。山形県内でも多数の医療機関のご協力のもと、小児感染症から筋痛症までさまざまな症状・診断名の患者様からウイルスが検出されました。

そこで、本研究では、2019 年 1 月から 12 月の間に、当所でパレコウイルス A3 型が検出された患者様を対象とし、ウイルスと患者様の臨床症状の特徴を比較することで、パレコウ

イルス A3 型のコミュニティ流行の実態を探索することを目的とします。

② 使用する患者情報

使用する患者様の情報は、年齢、性別、居住地（山形県）、発症日、臨床診断名、臨床症状と経過、感染症に関する生化学検査・画像検査情報、ウイルス検査結果、家族内感染の有無です。

※これら情報を解析した研究成果には、氏名をはじめとした対象者個人を特定可能な情報は含まれません。したがって、公開された研究成果から個人が特定されることはなく、対象者に不利益や危険が生じることはありません。

③ 誰が使用するか（研究実施施設及び責任者）要確認

研究実施機関の名称：

山形県衛生研究所	研究責任者：	微生物部長	青木 洋子	
山形大学医学部附属病院	第三内科	研究責任者：	第三内科	伊関 千書
山形市立病院済生館	小児科	研究責任者：	副館長	清水 行敏
公立置賜総合病院	小児科	研究責任者：	診療部長	仙道 大
天童市民病院	研究責任者：	小児科医長	池上 徹	
山辺こどもクリニック	研究責任者：	院長	板垣 勉	
山形県立中央病院	脳神経内科	研究責任者：	脳神経内科	和田 学
同	感染症内科	研究責任者：	感染症対策部長	阿部 修一
同	小児科	研究責任者：	小児科	近岡 秀二

④ 研究への利用をやめてほしい場合

患者様はいつでも、この研究にあなた自身の情報を使用しないよう求めることができます。情報の使用を認めなかったとしても、患者様に不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に患者

様の情報の使用を停止できないことがあります。

⑤ 問い合わせ先

患者様の情報の使用停止、そのほか質問したいことがありましたら、下記担当者までご連絡ください。

山形市十日町 1-6-6

山形県衛生研究所 微生物部長 青木洋子

電話 023-627-1373 FAX 023-641-748